

70 シリーズ筐体
70 SERIES
Vbus-74B (DC)
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等からませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音が出た場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行くと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。**
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。
 - ・長時間運転による発熱にご注意ください。手などの皮膚が長時間にわたり本体へ触れていますと、低温やけどを起こす可能性があります。
 - ・正面パネルなどを開閉する作業が必要な場合は、作業後に必ず元の通りに閉じてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、本製品を取扱う際は

- ・直射日光、水濡れ、湿気、ほこりなどを避けて使用してください。
- ・身体の静電気を取り除いてから作業を行ってください。

2、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

3、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

4、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
- ・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データーに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデーターはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先.....ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 構 成.....	1
3. 各部の名称と働き.....	1
4. モジュール実装方法.....	3
1. 据付方法.....	3
2. モジュールの実装方法.....	3
5. 外部インターフェース.....	4
6. トラブルシューティング.....	5
7. 仕 様.....	6
8. 外形寸法図.....	7

1. 概説

Vbus-74B(DC)はDC電源入力対応の70シリーズ用モジュール実装筐体です。このVbus筐体と70シリーズのモジュールを組み合わせることで、AC電源のとれない中継車等のシステムにあわせた対応が可能となります。

《特長》

- 70シリーズのモジュールと組み合わせることが可能
- 実装できるモジュールの数量は4枚

2. 構成

筐体は、以下の構成になっています。

開梱後、付属品などが不足していないかお確かめください。万一、不足している品物がございましたら、お手数ですが当社製造技術部までご連絡ください。

※付属品が不足している状態でのご使用は避けてください。

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	筐体フレーム(本体)		1	本書
2	フロントパネル		1	
3	ラックマウントビス		4	
4	取扱説明書		1	

3. 各部の名称と働き

- 筐体正面(フロントパネル付)

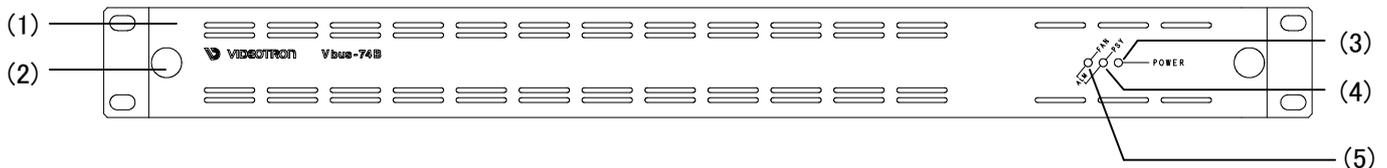


図 3-1 各部の名称(筐体正面)

(1)フロントパネル

筐体のフロントパネルです。

ユニットの調整や動作を確認する場合は外してください。

(2)フロントパネル固定用ネジ

フロントパネルを固定します。フロントパネル使用の際は確実に固定の上ご使用ください。

(3)POWER LED

筐体の電源スイッチをONにすると緑色点灯します。

(4)PSY LED

電源のアラームランプです。各モジュールに供給する電源電圧が規定値以下の時、橙色点滅します。

(5)FAN LED

FAN回転のアラームランプです。ファンの回転数が規定を下回った場合に橙色点滅します。

●筐体正面(フロントパネルを取り外した状態)

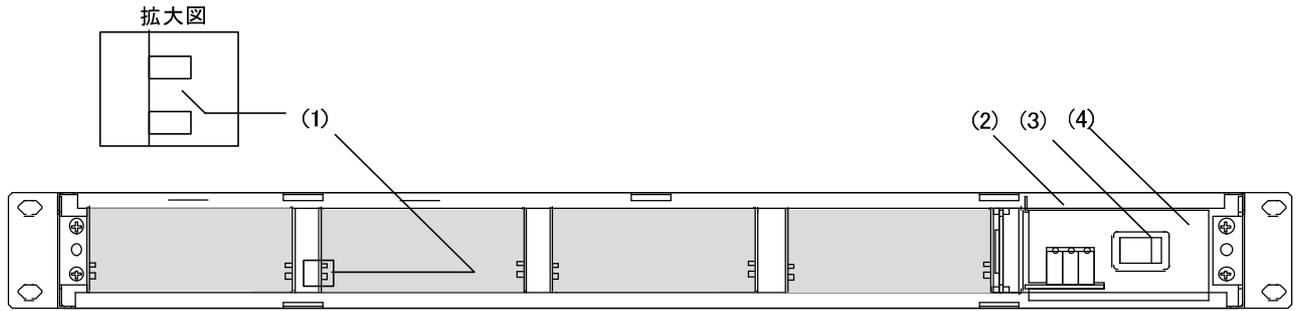


図 3-2 各部の名称(フロントパネルを取り外した状態)

(1)メインモジュール用のスロット

メインモジュールの基板の部分がこの隙間に来るように挿入します。

(2)電源ユニット

筐体の電源ユニットです。

(3)電源スイッチ

筐体の電源スイッチです。

(4)電源ユニット

筐体の電源ユニットが収まっています。

●筐体背面

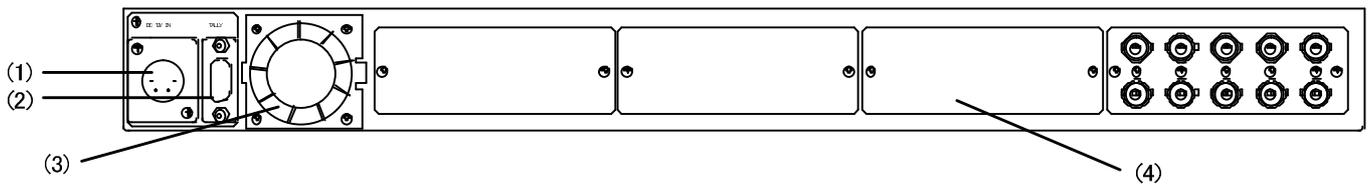
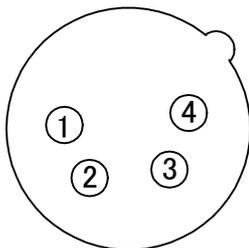


図 3-3 各部の名称(筐体背面)

(1)DC 電源コネクタ

DC 電源入力コネクタです。



DC 12V N コネクタ図

12V ピンアサイン

ピン番号	機能
1	GND
2	GND
3	+12V
4	+12V

※電源ケーブルコネクタには、ITT Cannon の XLR-4-11C か、その互換品を使用してください。

(2)TALLY

筐体内のモジュール、または筐体の電源か FAN に異常が発生した時、接点アラーム信号が出力されます。

(3)ファン

機内冷却用のファンです。FAN 故障の際は FAN ユニット上部2本のビスを外し交換します。

(4)コネクタモジュール取り付け部

使用するメインモジュールにあわせてコネクタモジュールを取り付けます。

4. モジュール実装方法

1. 据付方法

- (1) ラックに筐体を挿入します。
- (2) 両サイドのラック取り付け部分をラック本体に固定します。

※ラックへの据付は確実に行ってください。

2. モジュールの実装方法

- (1) 筐体の電源スイッチを OFF にします。電源ケーブルを抜きます。
- (2) フロントパネルをはずします。

・フロントパネル固定用ネジ(1)を十分に緩め、正面パネルをゆっくり手前に引いてカバーをはずします。(図 4-1)

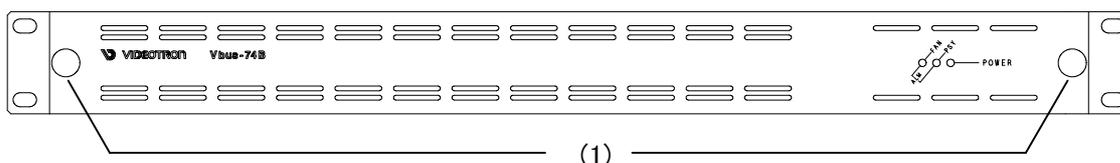


図 4-1 正面

(3) メインモジュール交換の場合は、交換するメインモジュールの取手を手前にまっすぐ引き抜きます

(4) 必要があればコネクタモジュールを増設します。(図 4-2)

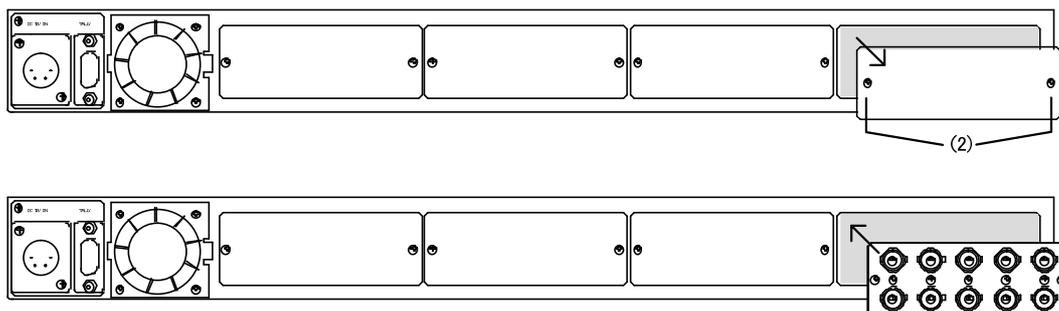


図 4-2 コネクタモジュールの取り付け

- ・コネクタモジュールを取り付けるスロットの(2)のネジを緩め、ブランクカバーを取り除きます。
 - ・コネクタモジュールのネジを締めて、筐体に固定します。
- (5) 筐体正面のスロット内部に異物がないことを確認しメインモジュールを挿入します。
- ・(3)のスリットに、メインモジュールの基板を滑り込ませます。
 - ・メインモジュールの電源コネクタがスロット奥の電源コネクタに、またコネクタモジュールに接続される部分がコネクタモジュールに正確に収まるよう、まっすぐに挿入します。

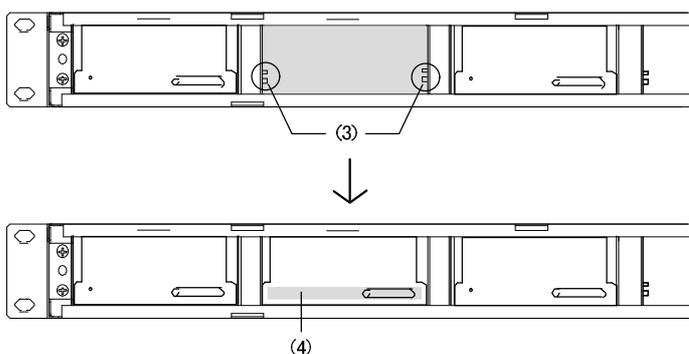


図 4-3 メインモジュールの挿入

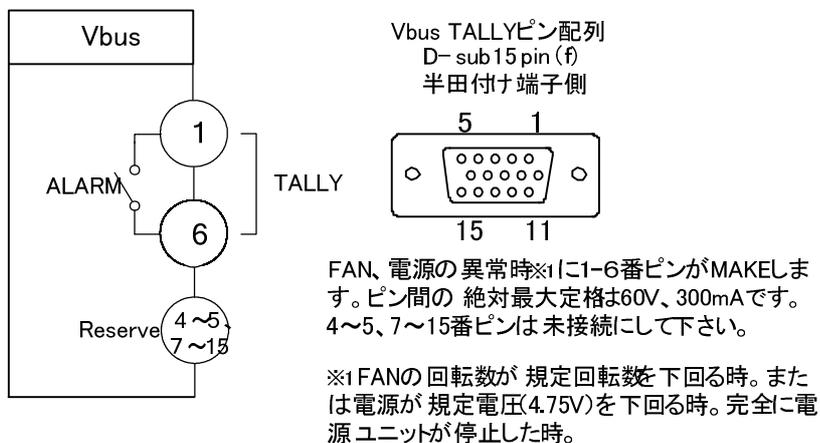
(6)奥までメインモジュールを押し込みます。

・その際、図 4-3 の(4)の辺り(正面パネルの左側)を押すようにしてください。

(7)フロントパネルを取り付けます。

・モジュールがしっかりと固定されたら、フロントパネルを手前よりまっすぐ取り付け、ネジを確実に締めて完了です。

5. 外部インターフェース



- 1) ケーブル用適合コネクタ 型番: D02-M15PG-N-F0 (メーカー: JAE)
ケーブル用適合コネクタコンタクト 型番: D02-22-26P-PKG100 (メーカー: JAE)
ケーブル用適合コネクタカバー 型番: 17JE-09H-1C (メーカー: DDK)

注) 必ず上記の指定されたコネクタ、コンタクト、カバーを使用してください。

2) Reserved ピンは未接続にしてください。

6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現象 メインモジュールが挿入できない！

原因

- ・筐体内に異物はありませんか？
- ・挿入位置が間違っていないですか？
- ・背面のコネクターモジュールは、正確な位置に、確実に固定されていますか？
- ・筐体のフレームがゆがんでいませんか？

現象 電源が入らない！

原因

- ・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？
- ・筐体の電源ケーブルは確実に接続されていますか？
- ・正面の PSY LED は点灯していませんか？

→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムからはずし、確実な電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

現象 電源ランプがつかない！

原因

- ・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？
- ・電源ユニットは確実に筐体に差し込まれていますか？

現象 FAN アラームが消えない！

原因

- ・ファンに埃などが付着していませんか？

→電源を OFF して、ファンの清掃を行ってください。

清掃後も点滅している場合は当社製造技術部までご連絡ください。

現象 PSY アラームが消えない！

原因

- ・筐体の実装しているモジュールの合計消費電力が、Vbus-74B の内部供給電力を超えていませんか？

→Vbus-74B(DC)の内部供給電力は 75VA です。各モジュールの仕様をご確認いただき、合計消費電力が 75VA 以内に収まっているかご確認ください。

- ・電源は確実ですか？

→筐体のつながっているシステムの電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムからはずし、確実な電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

現象 挿入したメインモジュールが正確に動かない！

原因

- ・ユニットは正確に挿入されていますか？
- ・背面のコネクタモジュールは、正確な位置に、確実に固定されていますか？
- ・メインモジュール、コネクタモジュールの組み合わせは正確ですか？

現象 メインモジュールを取り出すことができない！

原因

- ・左右のメインモジュールは正確に取り付けられていますか？
- ・筐体のフレームなどがゆがんでいませんか？

※1 同一筐体内に、コントローラ系モジュール(TLG-70BC、VT-70BC、及び SHC-70V、ADC-70SD-E、FS-70B、DAC-70A-A 等のリファレンス信号分配機能を使用した時)を複数いれないでください。同期をマスターに設定できるモジュールは筐体内に1モジュールだけです。複数マスターに設定された場合、内部で同期信号が衝突し出力映像が乱れることがあります

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

7. 仕様

- ◇最大実装モジュール数 4枚
- ◇内部供給電力 75VA(DC 5.0V、15A)
- ◇動作温度 0～40℃
- ◇動作湿度 20～80%RH(ただし、結露無き事)
- ◇電源条件電圧 DC 9.6V～16V
- ◇外形寸法／質量 444W×44H×345.1D／5kg

御使用各位

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。